

かたつむり21

個人： 71名

法人： 1団体

2003年10月12日 発行

題字 杉野 雅子

かたつむり21の活動状況のご報告

① SGサマーキャンプへの応援

昨年同様びわこ畔の「大阪市立青少年の家」で実施されたSGキャンプ（8月15～17日）の準備段階より「かたつむり21」の会員も積極的に参画し、本キャンプには7名が参加し大活躍。来年も頑張りましょう…体力は大丈夫？ホント。

特に、今回のキャンプの実施に当たっては、本会参与・幸島さんのご尽力のお陰で堺養護の杉本校長、箕面養護の竹内校長のご協力を頂くことができ、キャンパー募集がスムーズに運び今年の倍近いキャンパーの参加がありました。謝謝！！

② コピー機設置

事務所開設当初から切望されていたコピー機を、本年春の総会で講演して頂いた家常先生のご尽力で、大阪府共同募金会の支援金を得ることができ、8月5日に購入・設置しました。



案内状や資料等の作成・整理にフル稼働しています。またまた謝謝！！

③ その他の活動

- * SG新人募集のポスター掲出（大学等へ）
- * SG委員会に出席し、雑務等の作業を担当
- * 毎週水曜日午前中事務所周辺の清掃と当番
- * 第2土曜日午前10時よりSG事務所周辺と近くの公園の清掃。お手伝いをお願いします。

このような後方支援を通じて、ようやくSG会員との意思疎通もスムーズになってきた。今後も皆様のご協力のもと、地道な活動を積み重ね、友好的な協力関係を育てていきたい。 事務局長 松木彰造

会費納入のお願い

事務局の安定的な維持のため、「会員の拡大」と「会費（月1000円）納入の励行」をお願いします。

* 既に納入済みの方には同封しておりません。

◆銀行口座を開設しました

* 三井住友銀行・難波支店（普通）6672415

* SG後援会「かたつむり21」事務局 伊東久実子
・便利なネットバンキングでの振込をお勧め

◆郵便局からは同封の振込用紙をお願いします。

◆皆さんからの寄附も期待しています。

今後の予定

① 10月18日(土)11時 ～光陽養護学校秋祭り

② 11月 9日(日) 秋の遠足：阪神競馬場(SG)

③ 11月15日(土)～16日(日)

能勢Autumn Camp（別紙参照）

oooooooooooooooooooooooooooo

* 事務所をお借りしている婦人ホームでは、古着、ジャージ、ベビーカー、乳児用チャイルドシートを必要とされています。杉野雅子(0727-92-2488)さんまでご連絡ください。

SG後援会「かたつむり21」

531-0072 大阪市北区豊崎3丁目11番1号

大阪婦人ホーム 気付

会長：黒川芳朝 事務局長：松木彰造

電話：06-6375-3731（事務所）

072-661-4625（松木）

Eメール：akbkj500@tcn.zaq.ne.jp(松木)



サービスグループだより

畠仲 藍 (2003年サマーキャンプ Sub PD)

皆さんこんにちは。今年のキャンプでサブのプログラムディレクターをさせていただいた“アイアイ”です。今年のキャンプも例年と同じ、びわこ青少年の家で行いました。キャンパー20人、リーダーが部分参加を含めて54人のキャンプとなりました。

今年は自炊を増やし、キャンパーにも手伝ってもらおうというような“キャンプらしいキャンプ”をテーマにしたプログラムを組みました。本番のキャンプのスタッフをして下さったかたつむり21の皆様方には、様々な経験を生かしたアドバイスやいろいろな面でサポートしていただいたりと、本当にありがとうございました。

この10月5日には「思い出会」を開催し、キャンパー14人、リーダーが30人集まり、キャンプソングや、ゲーム等で楽しい2時間を過ごしました。今後の予定としましては、11月9日(日)に「秋の遠足」を実施します。その後「クリスマス会」(日時未定)、「SG忘年会」(12月20日(土))、来年の2月9日(日)には「餅つき大会」などの行事があります。

ご都合が合いましたら是非いらして下さい。

サマーキャンプに参加して

清石(松尾) 和子

20年振りにSGのキャンプに食堂として参加しました。チーフとサブしかない食堂としては、皆の「おいしかった!」「おかわり!」の声に励まされ、体力的に心配だったけど来てよかったなあ…と思いました。もちろん、かまどの火の番や配膳にはプロパティさんを思いっきりこき使ってしまった。皆さんゴメンナサイね。

ところで、献立に必要な「練りゴマ」を安曇川駅前の平和堂で探し回り、やっとの思いで買ったので



すが、開けてみるとなんと「黒の練りゴマ」。無惨にもあえものが真っ黒で見た目には「イカスミあえ」そのもの。でも、“味は最高!”と云って貰えたので、まっいいか!とにんまり。

また、煮込みハンバーグ用のミンチ肉を買いすぎて、急遽、残りを焼きハンバーグにしたところ、そちらの方が大好評。それもその筈、高価な近江牛のミンチだったんです…。

キャンプそのものは、私達の頃よりずっと重度、重複の子どもたちが多く、移動や介助が大変な中で、新人さんたちも頑張っていました。子どもたちの声を聞いたり、一緒にキャンプソングを歌っていると、あ〜久し振りの青春!!を取り戻した気分です。

会員便り ①

笠間 孝子

車椅子で出かけましょう

一人で車椅子で外出する時、まず考えるのは行き先までの交通手段と階段、トイレの有無等々。

最近エレベーターがずいぶん増えてきましたが、JR新大阪でさえ未だエレベーターがありません。4人の駅員さんが階段を担いでくれ、列車に乗る時は金属のスロープをホームとの間に掛けてくれます。降りる駅にはスロープを持った駅員さんが出迎えてくれるのです。

また、車で外出する時、コーナン、ユニクロ、TSUTAYAには外の車椅子用駐車場のそばに車椅子用トイレがあります。お店を利用しなくても大丈夫。

新しい劇場や大きなショッピングセンター、デパート、病院、役所はもちろんOK。ただ、歌舞伎座は、車椅子用トイレに行くまでに階段があるのです。でも休憩のたびに“お連れしましょうか”と声がかかり、4人で階段を担いでくれると聞きました。

ちなみに、飛行機に乗る時は空いていればファーストクラスに乗せてくれます。ラッキー！！

皆さんも、老後、車椅子で外出を楽しんで下さい。



ご心配おかけしました

北の国から 佐藤(野村) 則子

9月26日の早朝4時50分。私たちの住んでいる北海道東南部でかなりひどい揺れがありました。津波警報もなかなか解除されず、たびたびある余震に神経質になってしまいました。

幸いにも私たちの住む周辺は、学校も平常通り開始され、停電も短くて済み大きな被害はありませんでした。ただ同じ町内でも港近くの方たちのお宅は、冷蔵庫の中身や食器棚のなかのモノが散乱したりと大変だったようです。

実は、今回の地震よりも、9年ほど前の方がひどかったように思います。道路の液状化現象、長引く停電があり、その時は我が家も照明器具が落ちるなどの被害がありました。その後、地震対策万全？の住宅を建てましたが、今回はその甲斐でしょうか…。

かたつむり21の皆さんから、お見舞いのメールや電話を頂き、本当に嬉しく思いました。ともあれ、家族共々、元気しておりますのでご安心下さい。

庭の木々が紅く色づきはじめ 秋の訪れを強く感じます。大阪も季節の変わり目を迎えられることと思います。SG、かたつむり21のご活躍を祈っております。

会員便り②

交渉力こそ問題解決の秘訣

原口 和博



SG現役メンバーを離れてはやウン十年。現在、大西衣料(株)管理部におります。監査、法務、管理を担当するようになって6年。自身の最長不倒部署になりつつあります。日頃職場では「謝ってばかりいてどうする！」「契約条件を丸飲みにするヤツがあるか！」「イノチまでとられやせん！二度と怒られない工夫をしろ！」…といった殺伐とした会話が飛び交っています。

毎日持ち込まれる案件は様々で、必要に迫られ勉強もしています。学校に通った16年間、ろくな勉強をしなかったのに今頃になって「もっと勉強しておけばよかった」と思う自分を滑稽に感じる一方、「年をとったな」と思う今日この頃です。

特に最近、仕事で痛感するのは、「交渉力」の重みです。問題解決は「俯瞰」や「客観的に眺める」力に裏打ちされた「交渉力」によってその成否が決まると考えています。ただ、世の中が右肩上がりの時代を謳歌した世代の甘えなのでしょうか…上席者ほどその能力欠如が顕著なのが残念です。

私の場合、SGを初め、会社以外の多くの知己と接することで、その方たちの生き様に感動や刺激を受ける一方、「井の中の蛙」に気付かされ、問題解決のヒントをたくさん頂いております。異業種間の交流を通じて得たナビゲーション力が、「交渉」のキーワードを指し示してくれることを実感し、後輩社員にも、積極的に異業種交流を推奨しています。かたつむり21の皆様、これからも、どうぞ宜しくお導き下さい。

能勢 Autumn Campのお知らせ

オータムキャンプ実行委員会

今年で第4回目を迎えるオータムキャンプ、今回のキーワードは“能勢の秋と人形劇”。紅葉真っ盛りの能勢の山中で松茸に舌鼓を打ちながら（差入れがあればの話です…）人形劇を楽しもうという趣向です。

指導は本会の清石さんが所属されている人形劇団『なんじゃもんじゃ』代表の鎌谷真理子さんに特別参加して頂きます。初日は鎌谷さんを囲みメルヘンの世界に浸り、翌日は皆さんが創り演じる番です。

さらに今回のスタッフは全員女性陣です。さて、どんなキャンプになるのかワクワクドキドキ。この点も“乞う！ご期待！”です。

まだ1度もこのキャンプを体験していない方に、ハイライトをご紹介します。第1は言うまでもなく非日常的な人形劇の世界です。第2は能勢の秋でしょう。朝は静けさ、昼は紅葉、夜はくっきり浮かび上がる山のシルエットと満天の星。第3は子供たちも楽しめる数々のプログラム。第4は豊富なドリンクと豪華なディナー、第5は…、数え上げればきりがありません。

皆さん～！ぜひ、オータムキャンプに参加して、ひと味違う秋を体験しませんか。

★ 日時：11月15日（土）～11月16日（日） ところ：愛の郷（ダイヘンキャンプ場）

ス キャンプ長：林 純子（肢体不自由児通園施設の看護師） PD：清石 和子（30年ぶりのPD）

タ NS進行係：岩藤 和代（ダイエット中のママ） PC：辻野 由美子（子育て奮闘中ママ）

ツ BM（会計）：伊東 久実子（山歩き大好き） 食堂さん：杉野 雅子（書家・犬訓練士）

フ 食料調達係：西山 進見（氷上郡の松茸山の大地主・男性）*いつもお世話になります（^_^）

★ 詳細は、別紙「能勢Autumn Campのお知らせ」をご覧ください。大勢の参加をお待ちしております。



ちょっといわせてもらいまっせ

『キャンプ場のバリアフリー』

黒川芳朝（かたつむり21会長）

この9月26日の夜、府立青少年会館で大阪キャンプ協会主催の「野外活動施設のバリアフリーを考える」シンポジウムがありました。キャンプの実践活動を通して、ハード・ソフト両面の施設のバリアフリーについて考えようとするものでした。

パネラーは、盲の子供たちのキャンプを行ってられる盲学校の教頭先生、聾の子供たちを対象に実施されている大阪YMCAのスタッフに加え、SGからは現役の種子島公望君（今年のキャンプ長）が参加しました。

かたつむり21からも数名の会員が応援団として出席しました。私は残念ながら出席できませんでしたが、種子島君の報告は、他の専門家お二方に互して

具体的で真摯であり、今の時代をふまえた率直な意見も交えて、参加者の共感を得たようです。

重度の肢体不自由児のキャンプで必要なのは、車椅子用のスロープやトイレに目が行きがちですが、もっと大切なのは、周囲の人たちが障害を持つ子どもたちを一人の人間として認識する心の環境です。

かたつむり21やSGの活動が、こうした社会の実現に一歩ずつ進んでいければと願っています。

編集後記

楽しい投稿や情報がいっぱい第6号、高度？なテクニックを駆使し、装いも新たに一部をカラーにしました。また、会員便りには顔写真も入れてみましたが、白黒でしか印刷できなかった原口さん、笠間さんお許し下さい。（阿部トモ子）